

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成28年2月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は3から7に増加。「減少した」業種は11から4に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8のまま変化なし。「減少した」業種は15のまま変化なし。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は1から6に増加。「悪化した」業種は13から8に減少。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は2から1に減少。「減少した」業種は12のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は9から6に減少。「減少した」業種は11から13に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は3のまま変化なし。「悪化した」業種は14から17に増加。

製造業

■醤油製造

【県内全域】

醤油については横ばいの出荷状況が続いている。しかしながら、醤油加工品の動きは活発である。

■酒類製造

【県内全域】

前年比ほぼ同様の売上となり、好転傾向に入ったとは言えない。

■製材

【県内全域】

景況の変化は、少しずつ悪くなっているような気がします。

■製材

【木更津】

米材船1隻入港。ロシア船南用材入港なし。在庫の減少が続いている。

■印刷

【県内全域】

景況の変化について、2月の県内組合員受注売上は、景況感から来る消費マインズの冷え込み等の影響により、全体としては芳しくなかったようです。但し、全社が悪化しているわけでは無く、中には好調な企業もあります。様々な要素でパイの奪い合いが起きていますので、その結果として企業の業績に大きく格差がついてきています。

■電気鍍金

【県内全域】

景況の変化は、1月よりは好転し、売上高もよかった。

鉄工

■千葉

【千葉】

景況の変化について、従来同様、大きな変化なく横ばい推移中。

■機械部品製造

【野田】

景況の変化は、各業界共に停滞ムード。

■機械部品製造

【流山】

景況については、特に変化がないが、電気料金の燃料調整費が下がってはいるが、依然高値での推移なのでコスト負担は厳しい状況である。

■機械部品製造

【柏】

前月と変わらず低調かつ不透明。中国の影響が大きい。開発案件は今年に入り増加。内容は自動車軽量化等。

■金属製品製造

【船橋】

景況の変化は、年度末に向けて、生産高は増加しているが、当初の計画からは減少。

■採石

【県内全域】

景況の変化は、前月比伸びている。年間実績で前年度を多少上回る可能性あり。今後とも、港湾整備に伴う石材の需要はあるものの、採取場の廃止などにより採取地の減少と資源の枯渇により生産箇所が限られ、需給が追い

付かない状況である。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【事務機・文具】総じて年度末に向かい、売上は前期比微増だが、4月以降の受注計画に陰りが見えてきている。

【食肉卸売】 【千葉市他】

業界動向は、中小規模の酪農家の離農が見られる。

【建築材料卸売】 【県内全域】

景況の変化について、一段と悪化に向かっている。消費税とは別次元の構造的不安感がある。公共事業更新需要は、莫大なものがあるが、手つかず。民需もマンション戸建とも低迷。物流倉庫需要も一段落した。千葉県内は、外環特需のみ。民間需要は極めて低い。

【自動車解体】 【県内全域】

景況の変化は、スクラップ価格は低迷したままで、廃車確保も厳しい状況。円高が進行したことで、海外向けの販売にマイナスの状況。

【乾物卸売】 【県内全域】

景況の変化は、やや後退（海苔不足に起因）。

【卸売】 【茂原】

景況の変化は、世間では景況の上昇を気にしている様子ではありますが、現実的には地方においてあまり見受けられません。気候の上昇とともに景況の上昇を祈るばかりです。

【電気機器小売】 【県内全域】

景況の変化は、日々厳しく泣いている。わずか2、3千円のリモコンを見積らせる行政、あきれることが多い。高齢者は年金が減少する中で、買い控え、社会全体が疲弊している。

【青果小売】 【千葉市】

果物の単価が例年より高めなので動きは悪い。

【中古車仕入・販売】 【県内全域】

景況の変化は、横ばいの様である。

【小売】 【東金】

景況の変化は、ファッション関連品は、気候により左右され、冬物処分で若干動きがあったが、春物は見せる展示段階で購買までにはいっていない。日用品関連は若干上向いてきている。

【小売】 【野田】

景況の変化について、前年と比べて来店客数が増加したが、客単

価は下がっており、総売上は伸びなかった。3月の春物セールに期待している。

【小売・サービス】 【柏】

景況の変化について、もともと寒い時と強風の時は来街者が少ないのだが、今月の売上減少は甚だしい。食品、飲食、物販、サービス業すべてが良くない結果となった。気候のせいだけではない構造的なものとしか言いようがない。

【遊覧船】 【鴨川】

景況の変化について、2月は欠航が6日（前年同月1日）あり、しかも2週間に渡り週末に重なったため大幅な落ち込みとなった。

【学習塾】 【県内全域】

景況の変化について、新入塾生の集まりはまだまだといったところ。大手塾が千葉市内に3つ進出。競争の激化は避けられない。

【土木建築サービス】 【県内全域】

景況の変化について、1月29日に日銀金融政策決定会合がマイナス金利政策を決定（2月16日から適用）したものの、10月〜12月の実質GDPが年率▲14%と2期ぶりのマイナス成長となった

こと、3月1日、財務省発表の法人企業統計も経常利益▲1.7%、売上高▲2.7%と、ともに前年同期比マイナスを記録した（11年10月〜12月期以来4年ぶり）ことなど、景気のもろさが露呈した。

【ソフトウエア】 【県内全域】

景況の変化は特になし。業界動向は、ものづくり助成金の準備に当たり構想している企業が多い。

【建設】 【県内全域】

2月の落札額は、前月比30%強のマイナス。前年同月比微増となった。例年のことではあるが、年度末でもあり、調整色が強い。

【貨物運送】 【野田】

景況の変化について、いまだに価格を下げた営業活動が見受けられる。日頃より厳しい運賃で請け負っているところに無責任な安い運賃提示があり、結果的に今まで請け負っていた業者が値引きされる結果となった。

【輸出入】 【県内全域】

景況の変化について、2月の売上は前月比、前年同月比とも1月より減少しました。